

九大新町『研究開発次世代拠点』の 名称とロゴが決定しました！！

福岡市では西区九大新町において、新産業・新事業が次々に生まれる研究開発拠点の形成を目指しています。この度、九大新町研究開発次世代拠点の事業者である大和ハウス工業株式会社を代表とする下記のグループにおいて、令和5年4月に開業を予定している同施設の**名称とロゴが決定**されました。あわせて、施設の**ホームページが開設**されましたので、お知らせします。

福岡市としても、これを契機として施設開業に向けた更なるPRに協力し、産学連携による研究開発拠点としての機能強化を図ってまいります。

■事業者（構成企業）

大和ハウス工業株式会社／西部ガス都市開発株式会社／カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社
／正晃株式会社／大和ハウスリアルティマネジメント株式会社

■名称・ロゴ

名称

いと Lab+

(いとらぼぷらす)

九大「伊都」キャンパス直近に新たに誕生する研究施設「Lab」、さらに商業施設や住居施設も「プラス」された施設であることを表現。

ロゴ



ITO Lab Plus

ロゴ中段のシルエットは建物の外観を、中央の突起は板と板をつなぎ合わせる「実（さね）」を模し、「伊都」と「Lab」が上手く噛み合っている様を表現。さらに、立体的・複層的なデザインで「プラス」を形作ることによって様々な機能の交わりを表現。カラーは「常識にとらわれない空間」をイメージし、空色で制作。

■施設ホームページ

<https://www.digitalscheme.co.jp/itolabplus/index.html>

(今回は名称・ロゴのお披露目を主目的としております。内容は順次更新していきます。)



■本事業に関するお問い合わせ先

大和ハウス工業株式会社福岡支社
担当：中村、富吉、北
電話：092-473-5118

■本リリースに関するお問い合わせ先

福岡市経済観光文化局 産学連携課
担当：立花、平川
電話：092-711-4900（内線 2538）

施設の概要

九大新町の研究開発次世代拠点「いと Lab+」は、九州大学伊都キャンパス近くの研究開発施設であり、産学連携により新産業・新事業の創出を目指す新たな拠点です。3.1haの敷地の中で、研究開発棟に加えて蔦屋書店棟や飲食・物販などのテナント棟及び住居棟を整備することで、研究開発機能と交流機能を融合したグランドデザインです。



全体鳥瞰イメージ

研究開発棟

研究開発棟はレンタルラボ・オフィス約 60 室、延床面積約 9,000 m²、ウェット系の研究にも対応した施設です。共用空間であるクロスホールやラウンジのほか、共用実験機器室や実験用消耗品販売ストアも兼ね備えており、幅広い方々の活躍をサポートします。



研究開発棟外観



レンタルラボ室内

商業棟（蔦屋書店棟）

蔦屋書店は交流の核として整備されます。BOOK & CAFE を中心とした店内では打ち合わせを行うことや、リフレッシュ空間としても利用することができます。また、店内でのテストマーケティングや実用化した商品の販売などについても相談に応じることができます。



商業棟（蔦屋書店棟）外観



蔦屋書店店内

テナント棟

敷地内には飲食店や物販店なども整備され、昼夜の食事や仕事帰りの買い物などに利用できます。敷地内にこれらの生活利便機能を兼ね備えることで、日々の研究開発活動を支援します。



テナント棟（飲食）屋上



テナント棟（飲食）店内

住宅棟

住宅棟はワンルームタイプの賃貸を基本としていますが、マンスリーでの利用も相談が可能です。交流ラウンジでは普段はコワーキングや自習スペースとして、また留学生の交流会などの各種イベントにも対応します。



住宅棟外観



住宅棟交流ラウンジ